

第2回三鷹市における平和施策の推進に関する条例の改正に向けた検討委員会 議事録（要旨）	
日時	令和7（2025）年9月25日（木）午後1時30分～3時
場所	三鷹市教育センター3階 大研修室
出席委員	山本 正和、島田 肇、仁礼 均、後藤 ひろみ、秋山 慎一、中舘 文子、石坂 和也（委員名簿順、敬称略）
欠席委員	なし
市側出席者	企画部長 石坂 和也（再掲） 教育委員会教育部指導課教育施策担当課長 齋藤 将之 企画経営課 西澤 俊、貝原 岳、山際 陽子、石川 正夫、五十嵐 由梨
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人
1 開会 2 「三鷹市における平和施策の推進に関する条例」の改正に向けた基本的な考え方 （案） 事務局より、第1回検討委員会での意見を反映した箇所に触れながら説明した。 3 意見交換 〔A委員〕世界連邦都市宣言とは、どのような取組か。素晴らしい考え方だと思うので、広めたら良いと思う。 →〔B委員〕三鷹市世界連邦運動協会は、平和の絵や平和カレンダーなどの事業で、市と協力して事業を実施している。 →〔事務局〕世界の様々な課題に、国境を越えた地球レベルで取り組むというような考え方で、市がやるべきことは地道な啓発活動だと考えている。 〔A委員〕人権尊重意識を根付かせるためには、積極的平和を具体的に実施することが重要だと考える。 〔C委員〕中学生を長崎市に派遣し、現実を見て知ることは大切だと思う。戦争について中学生に伝えていかなければならない。 →〔事務局〕長崎市の資料館で原爆の熱で曲がった瓶などの戦争遺品を見て、どれだけ凄かったのかを知り、勉強になったのではないかと思う。派遣生徒は、市の報告会だけでなく、各校でも報告会を行っている。 →〔A委員〕長崎市中中学生派遣交流事業の報告会について、市報などで広報して欲しい。 →〔事務局〕広報みたかや市HPにて周知する。また、報告書もHPで公開予定。 〔A委員〕三鷹市でも平和に関する作文コンクールを実施してほしい。 →〔事務局〕毎年、平和カレンダー事業で平和のメッセージを募集している。また、人権や平和などに関する中学生の意見発表会も行っている。 〔D委員〕「三鷹市平和の日」の制定を市民に知ってもらうことが大切。三鷹駅のデッキに横断幕の設置を検討してはどうか。コミュニティ・センターでのPRや、市民と	

一緒にパレードを実施することはどうか。

→[事務局]「三鷹市平和の日」について、制定後の周知が大切だと認識している。

[E委員]言葉や文章だけでなく、実物や経験が大切だと思う。

[B委員]市役所に行くことができない市民もいるので、コミュニティ・センターの活用は有効だと思う。

→[事務局]市には、戦争関連資料が約 150 点ある。みたかデジタル平和資料館は先駆的な取組であり、今後も積極的に活用していきたい。

[A委員]記念セレモニーの案について伺いたい。

→[事務局]具体的な内容は検討段階。ご意見のうち、パレードはハードルが高いと考えている。この時期に様々な事業を実施し、集中的に啓発を行う期間として展開できればと考えている。セレモニーを中心に、どう盛り上げられるか考えたい。

[A委員]井の頭地区住民協議会のコミセンまつりの際、三鷹市から戦争関連のパネルを借り受け、展示を行いたい。

[F委員]「平和文化」という言葉は以前から使用していたか。「平和文化」とは、自分で考えて行動する意味か。

→[事務局]お見込みのとおり。市が加盟している平和首長会議では、市民一人一人が平和を願い、日常生活の中で自分ができることを考え行動することを「平和文化」と定義しており、「創る平和」と親和性が高い言葉である。

[F委員]近隣自治体と連携できると良い。小金井市では、平和盆踊りをやっていた。

[B委員]「平和の日」は他市でも設けているのか。

→[事務局]制定している自治体はいくつかある。近隣では、以下のとおり。

武蔵野市：11/24（初めて空襲があった日）

小金井市：3/10（東京空襲があった日）

国立市：6/21（国立市平和都市宣言の告示日）

西東京市：4/12（西東京市に空襲があった日）

※ 三鷹市は「創る平和」の象徴である、平和の像を作った日とする。

4 その他

次回（第3回検討委員会）は、令和7年11月中旬に開催する。